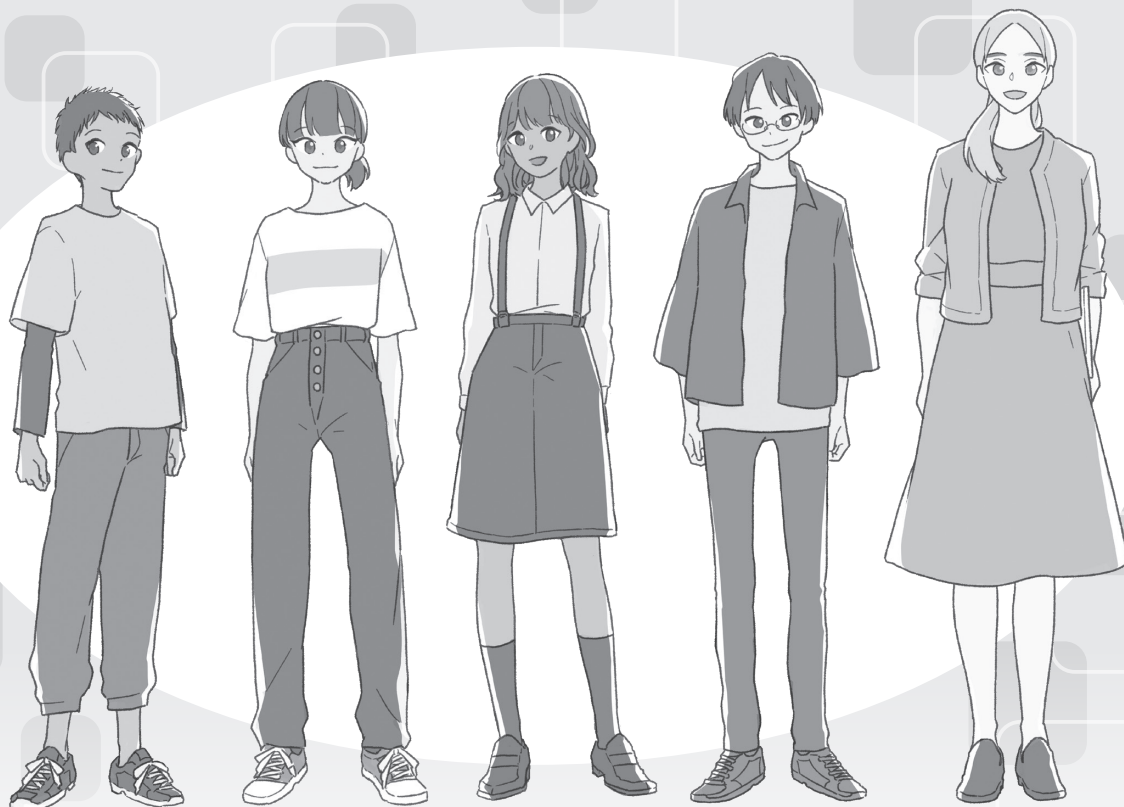


# 編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
105-73	中学校	外国語	英 語	第2学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
61 啓林館	英 語 061-82	BLUE SKY English Course 2		

## 1 編修の基本方針



### ～「青空」は世界へとつながっている～



教育基本法の第一章「教育の目的及び理念」における「教育の目的」と「教育の目標」を実現するため、また、日々変化している社会情勢に柔軟に対応する人物を育成するために、生徒がさまざまな変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決したり、膨大な情報を見極めながら複雑な状況変化の中で目的を再構築したりするなど、持続可能な社会の担い手となるための資質・能力を培う観点から、以下の3点を基本方針として位置づけました。

1 確かな英語力を育成する教科書

2 生徒の興味・関心と現代の諸課題に対応する教科書

3 指導と評価の一体化を体現した教科書

### ICTの活用

3つの基本方針を実現させるために、授業・学習をフォローするデジタルコンテンツ(QRコード)を各所に配置し、さらに充実させました。

## 1

## 確かな英語力を育成する教科書

- コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じた言語活動を積極的に取り入れました。
- スパイラルな学びを通して知識・技能、思考力・判断力・表現力を育成することを目指しました。

## ● Unit 内 Part

本文、表現活動、言語活動を通して、知識・技能の習得をはかります。

## Listen, Speak, Write

目的・場面・状況を設定した言語活動に取り組むことで、知識・技能の育成を図ります。

## Express Yourself

ここまでの言語活動をふまえて、自分の感想や考えを表現する力を育みます。

## 50- 51 ページ Unit 4



## デジタル コンテンツ

本文・Listen の音声 (速度変化可能)、Words の音声、本文のアニメーション動画、Target の解説動画

## ● Let's Talk、Let's Listen、Let's Write

タスク性があり、即興力を育成する言語活動を取り入れました。

## ▲ 15 ページ Let's Talk

Authenticity: 実生活の言語コミュニケーションと関連のある活動



## デジタル コンテンツ

モデル会話・Words の音声、アニメーション動画

## Meaning: 意味のあるやりとり

## ▲ 85 ページ Let's Listen

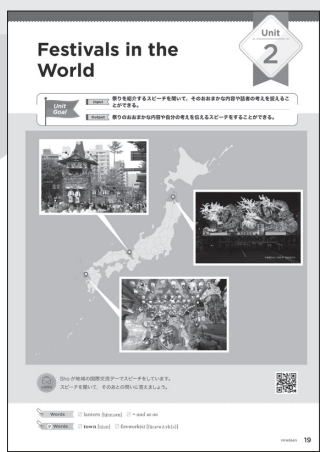
## Outcome: ゴールのある活動、結果をもたらす活動

## ▲ 108 ページ Let's Write

## 2

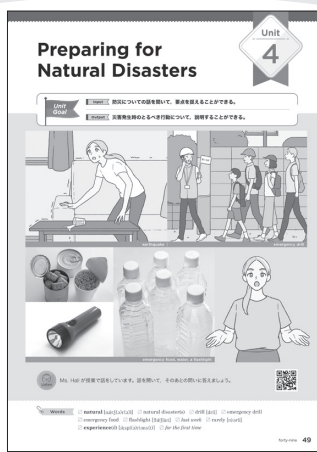
## 生徒の興味・関心と現代の諸課題に対応する教科書

- 現代社会の諸課題に対応する題材を採用しました。
- 英語圏以外も含めた外国文化の紹介や他教科との連携の要素を取り入れました。



## 【 19 ページ Unit 2 】

**世界の文化：**世界の祭りに触れることを通して、その内容や日本の祭りとの違いを考え、相手に伝える。



## 【 49 ページ Unit 4 】

**防災：**災害のための準備や注意すべきことを理解し、実際の災害時に何をすべきかについて考えをまとめる。



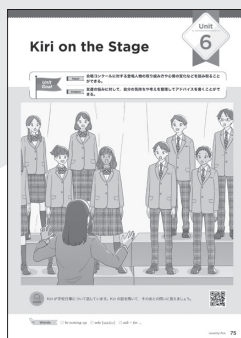
## 【 109 ページ Unit 8 】

**文化の多様性：**世界の食の多様性を知ることを通して、自分の住んでいる地域の食べ物についてその特性を紹介する。

## 3

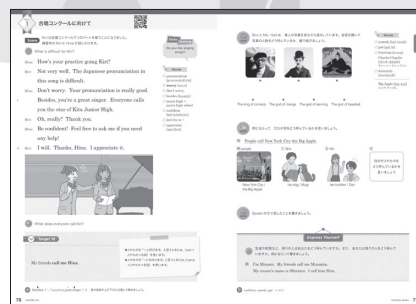
## 指導と評価の一体化を体現した教科書

- 「目標確認→指導→自己評価」が明確になるように紙面構成を工夫しました。



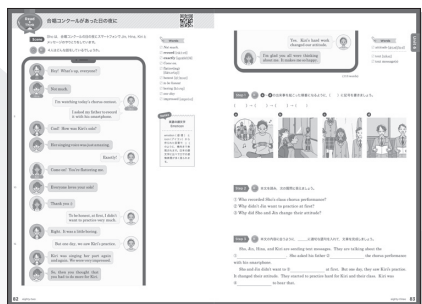
## 【 75 ページ Unit 6 とびら 】

Input と Output のそれぞれの目標を「Unit Goal」に示しています。



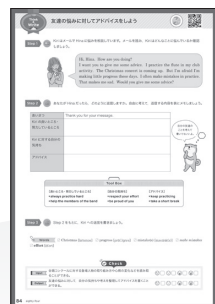
## 【 76-81 ページ Unit 6 Part 1-3 】

左ページの本文を読んだうえで、各技能の Activity を通して知識・技能の定着をはかり、最終的に自分の意見や考えを表現する活動を「Express Yourself」で示しています。



## 【 82-83 ページ Unit 6 Read &amp; Think 】

Part 本文に関係したまとまった英文を読んで、段階ごとに要点を理解したり、詳細を理解したり、内容や自分の考えをまとめたりします。



## 【 84 ページ Unit 6 Think &amp; Write 】

各 Unit の最後に配置されている Output 活動のページです。最後に「Check」で自分の目標達成度を自己評価できます。

## 2

## 対照表


図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
全体	<p>①コミュニケーションにおいて大切なことに触れる機会をたくさん設け、聞き手および相手に配慮した伝え方を考えさせ、豊かな情操と道徳心を培います。(第1号)</p> <p>②言語活動を通じて、伝え方や使えるフレーズを学び、コミュニケーションに活かせる幅広い知識と教養を身に付けます。(第1号) また、それらを実生活で活かせる力を養います。(第2号)</p> <p>③個人の考えを大切にしながら、学習の見通しを持たせたり、振り返らせたりすることで、自主及び自律の精神を養い、主体的に学習をすすめられるようにします。(第2号)</p> <p>④社会の一員として、他者への敬意と共働の精神を涵養し、主体的に社会に参画する態度が身に付くようにします。(第3号)</p> <p>⑤イラストや写真において、固定観念で性の区別をしない、男女の社会的役割を平等にするなど、ジェンダーへの配慮をしています。(第3号)</p> <p>⑥ペアやグループで取り組むコミュニケーション活動を豊富に用意し、他者と協働することによって言語面や態度面などにおける様々な気づきが生まれるようにしています。(第3号)</p> <p>⑦環境問題を通して、生命の尊さや自然保護の重要性を意識し、将来に向けて共存していく態度を養います。(第4号)</p> <p>⑧世界の人たちの生活や文化を知ること、幅広い知識と教養を身に付け、他国のことを理解・尊重する心を育み、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。(第1号、第5号)</p>	全体随所
Unit 1	①校内イベントの立案及び一連の進行を通して、想像力を培い自主及び自律の精神を養います。(第2号)	p. 5-14 Talent Show
Unit 2	②日本と世界の祭りを知ることを通して、外国文化との違いを知るだけでなく、自国の伝統文化を再認識し、尊重する態度を養います。(第5号)	p. 19-28 Festivals in the World
Unit 3	③シンガポールへの旅行でその国の名所・文化やルールを知ることを通して、豊かな情操と道徳心を培い、健やかな体を養います。(第1号)	p. 33-42 Visiting Singapore
Unit 4	④防災に対する準備や災害時の行動について考えることを通して、主体的に社会の形成に参画し、協力を重んずる態度を養います。(第3号)	p. 49-58 Preparing for Natural Disasters
Unit 5	⑤将来の夢とそのために必要なことを考えることを通して、自主及び自律の精神を養うとともに、勤労を重んずる態度を養います。(第2号)	p. 63-72 What is Your Dream?
Unit 6	⑥目標に向かって、仲間と考え話し合うことを通して、自他の敬愛と協力を重んじ、主体的に社会の形成に参画する態度を養います。(第3号)	p. 75-84 Kiri on the Stage



Unit 7	⑦世界遺産の特徴や課題を知ることを通して、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養います。(第4号)	p. 95-104 World Heritage Sites
Unit 8	⑧世界における食の多様性を知ることを通して、伝統と文化を尊重し、自国を愛するとともに他国を尊重する態度を養います。(第5号)	p. 109-118 Food Diversity

## 3

## 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

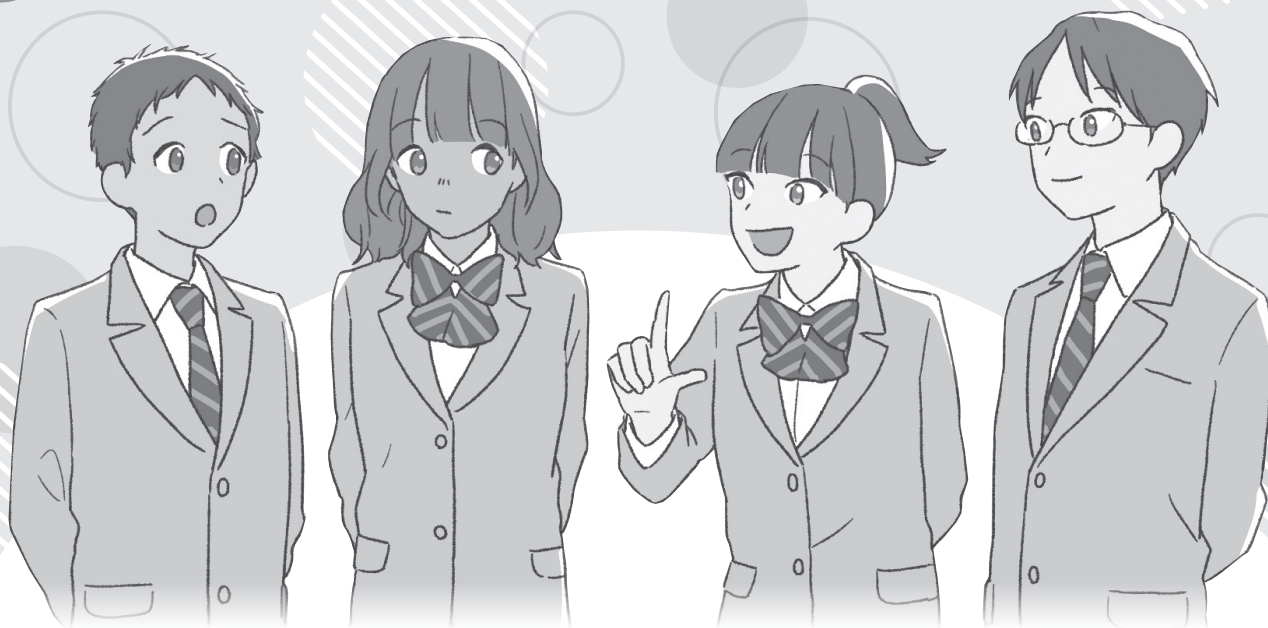
観点	留意点	該当箇所
指導経験の浅い先生方への配慮	<p>① Unit の各 Part は見開きで2時間という<b>余裕をもたせた時間配当</b>をするなど着実に授業が進められるよう配慮しました。</p> <p>② <b>音声や映像教材など ICT を使った教材を充実</b>させ、授業の中で適切に生かせるよう配慮しました。</p> <p>③教科書をより有効にご活用いただくための<b>朱註や指導案集、ワークシート集など充実した指導書</b>を発刊予定です。</p>	全般
特別支援教育・ユニバーサルデザイン	<p>①学習のめあてを明記したりするなど、<b>インクルーシブ教育</b>に配慮しました。</p> <p>②色覚特性や障害のある生徒などにもわかりやすいよう、判別しにくい配色を避けたり、シンプルなイラストを扱ったりするなどの配慮をしました。<b>メディア・ユニバーサル・デザイン協会 (MUD)</b> による検証を受けています。</p>  <p>③<b>デジタル教科書や拡大教科書</b>を用意し、生徒の様々な学習形態に対応できるように配慮しました。</p>	全般
人権、福祉、国際理解・異文化理解、ジェンダーへの配慮	<p>①外国のさまざまな話題を取り上げて、自分の国との違いや共通点などに気づかせるなど、<b>国際理解・異文化理解</b>を深められるようにしました。</p> <p>②教科書には多くの人種・民族の人々を登場させています。</p> <p>③女性は赤色・男性は青色といった固定観念で性の区別をしない、男女の社会的役割を平等にするなど、<b>ジェンダーへの配慮</b>をしました。</p>	全般
地域や伝統文化との連携	<p>①防災の準備や、災害発生時の対応を考える機会を取り上げ、<b>生徒それぞれの地域でどのようなことができるかを意識</b>できるようにしました。</p> <p>②世界の文化やルールを取り上げ、その多様性に触れることで、生徒が自分の住む<b>地域についても意識</b>できるようにしました。</p>	<p>① p.49-58 : Unit 4</p> <p>② p.19-28 : Unit 2 p.33-42 : Unit 3 p.95-104 : Unit 7 p.109-118 : Unit 8</p>

## 編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
105-73	中学校	外国語	英 語	第 2 学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
61 啓林館	英 語 061-82	BLUE SKY English Course 2		

## 1 編修上特に意を用いた点や特色



～ひろがる：仲間たちと多くのことを学ぼう～

## 1 知識・技能を確実に習得できるよう、スモールステップによる学習場面を設定する。

- 教師にも生徒にも授業の流れがイメージできる紙面構成にしました。
- コミュニケーション活動の基礎となる知識・技能を、十分親しみながら、段階を踏んで、確実に身に付くよう配慮しました。

## Unit Part 1-3

## Listen &amp; Read

本文ははじめにリスニングから入ります。聞くためのポイント(問い)を読んでから本文を聞きます。

## Enjoy Chatting

即興的なやりとりができるようになるための活動を示しています。

## Target

Part で学習する目標文と文法の解説を示しています。

1 グレンドショー開催!

2 プレゼンテーションのボイスオーバーのQRコードを読み取ると、関係者の生活面が広がり、英語が話せるようになります。

3 What are Mike and Amy talking about?

4 Hi, everyone! Today we'd like to invite you to our talent show! You can show your talents to your friends.

5 Sounds exciting! I want to join the show! But what can I do?

6 I'll sing. I'll dance. I'll play the guitar. I'll tell jokes. I'll tell stories. I'll tell secrets.

7 Of course, they will!

8 You play the guitar, don't you? How about playing traditional Japanese music on the guitar?

9 Will everyone like my performance?

10 OK, I'll join the show!

11 What will Amy do in the talent show?

12 I'll join the show.

13 Will you join the show?

14 Yes, I will. / No, I won't. (Will not.) It will be my chance to shine.

1 How will the weather be next Monday?

2 It'll be going with a high of 14°C and a low of 9°C.

3 At I see. I'll bring my umbrella.

4 How will the weather be next Monday?

5 It'll be going with a high of 14°C and a low of 9°C.

6 At I see. I'll bring my umbrella.

7 How will the weather be next Monday?

8 It'll be going with a high of 14°C and a low of 9°C.

9 At I see. I'll bring my umbrella.

10 How will the weather be next Monday?

11 It'll be going with a high of 14°C and a low of 9°C.

12 At I see. I'll bring my umbrella.

13 How will the weather be next Monday?

14 It'll be going with a high of 14°C and a low of 9°C.

15 At I see. I'll bring my umbrella.

## Listen

学習した目標文を聞き取る知識・技能を身に付けます。

## Speak

目標文を使ったやり取りや発表をすることで、知識・技能を身に付けます。

## Write

Speak で話したことを正確に書く技能を身に付けます。

## Express Yourself

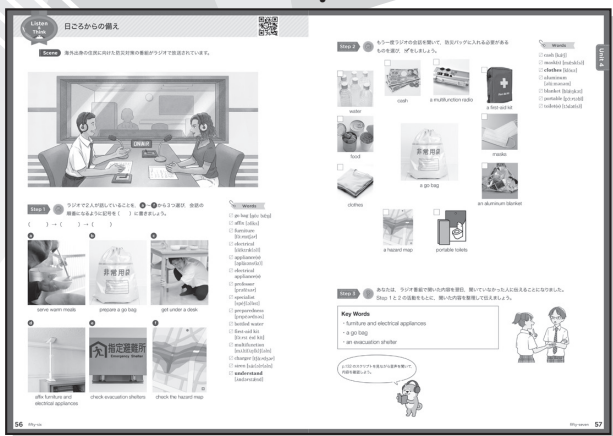
Listen や Speak で身に付けた技能を使って自己表現をします。

## 2

## 知識・技能の定着をふまえて、思考・判断・表現の力を育成する。

- 主に日常的な話題や社会的な話題について具体的に設定された課題（コミュニケーションを行う目的や場面・状況）に応じて、定着した「知識・技能」を活用しながら情報を整理して自分の考えをまとめられる構成としました。
- 言語活動として、整理した自分の考えについて「話す」または「書く」を通して表現することができることを目標としました。

## ■ Input



## ▲ 56-57 ページ Unit 4 Listen &amp; Think

SDGs「11 住み続けられるまちづくりを」：災害への多方面の準備を通して、その要点をまとめる。

## Think



## ■ Output



## ▲ 58 ページ Think &amp; Speak

これまでの災害への準備をふまえて、災害発生時に取るべき行動について考えをまとめて発表する。

## 3

## 各所に主体的に学習を進めることができるような工夫を配置する。

- 生徒が自身の問題として主体的に学習を進められるよう、生徒にとって身近な題材や興味深い題材の選定、場面の設定を考慮しました。
- Unit のとびらには、その Unit の目標と題材に関する情報を掲載し、音声や写真・イラストなどで確認することによって、生徒のスキーマを活性化し、その Unit を学習する意欲を持てるように工夫しました。
- 数 Unit ごとに統合的な活動である「Project」を配置し、それまでの Unit で学んだ内容を活用しながら、生徒が実際の言語の使用場面を想起して臨場感をもって学習が進められるようにしました。

## Project

それまで学んだことを生かしなが、設定された課題に対して自分の考えや意見をまとめ、話したり書いたりする統合的な活動です。

## 目標

Project の目標は、基本的に Output（話すこと・書くこと）について設定しています。

## Step 1-3

Input（聞くこと・読むこと）を通して自分の感想や考えをまとめ、相手に伝える活動を段階ごとに進めます。

## 44-45 ページ Project 1

**Project 1 Sharing Japanese Culture with the World**

Scene 日本文化について紹介するパンフレットを作成し、オーストラリアの観光客へ送ることになりました。あなたならどんなことを紹介しましょう。

Step 1 Sho and Hina が書いた紹介文を読み、それぞれがどんなことをどのように紹介しているか確認しましょう。

Sho  
Taiyaki is a popular Japanese sweet. It is a fish-shaped cake with red bean paste inside. It is crispy on the outside and soft on the inside. At some shops, you can buy taiyaki with custard cream or chocolate cream inside.

Hina  
Hanami is a traditional and popular Japanese event in spring. It is like a picnic to see cherry blossoms. People get together under cherry trees and enjoy food, drinks, and chatting. Cherry blossoms bloom only for about two weeks in spring, so popular hanami spots become very crowded.

Step 2 ① 紹介したい日本文化のジャンルを 1 つ選びましょう。  
☐ もの（こけし、ふるしなど） ☐ 食べ物（天ぷら、桜もちなど） ☐ 年中行事（正月、月見など） ☐ 芸術・娯楽（浮世絵、マンガなど） ☐ その他

② 自分が紹介したいものについて、例にならって、マッピングしましょう。

例

```

graph LR
    A[外はサクサク] --- B[食感]
    C[中はふわふわ] --- B
    B --- D[Taiyaki]
    D --- E[人気のあるお菓子]
    E --- F[あんこ]
    E --- G[チョコクリーム]
    E --- H[カスタードクリーム]
    D --- I[外観]
    I --- J[魚の形]
  
```

③ 下の表に書きたいことを英語でメモしましょう。

紹介する物事	例 Taiyaki
定義	a popular Japanese sweet
形	fish-shaped cake
味	red bean paste
食感	crispy on the outside, soft on the inside
その他	custard cream, chocolate cream, some shops

④ ペアになり、表を見せ合いましょう。表の内容について質問し合ったり、追加でそのような情報を伝え合ったりしましょう。

Step 3 ① Step 2 をもとに、日本文化を紹介する文章を書きましょう。

② グループになり、発表しましょう。

Words ☐ bean [bit] ☐ paste [paist] ☐ red bean paste ☐ inside [insaid] ☐ crispy [krisp]

☐ custard [kastard] ☐ cream [kri:m] ☐ blossom [blsmdm] ☐ get together ☐ cherry blossom

☐ bloom [blm] ☐ soft [sft] ☐ shape [peit] ☐ festival [festi]

## ★教科書の構成

		聞く	読む	話す (やり取り)	話す (発表)	書く
導入	英語の学び方	○	○	○	○	○
Unit	とびら	○		○		
	Part 1	○	○	○	○	○
	Part 2	○	○	○	○	○
	Part 3	○	○	○	○	○
	Read / Listen & Think	○	○	○	○	○
	Think & Speak / Write	○	○	○	○	○
領域	Let's Talk			○	○	
	Let's Listen	○		○	○	○
	Let's Write		○	○		○
	Let's Read		○	○	○	
復習	Focus on Form	-	-	○	○	○
統合	Project	○	○	○	○	○
補充	Sing a Song、Listening Script、基本文のまとめ、不規則動詞変化表、形容詞・副詞比較変化表、Word Box、Word List、CAN-DO List					

## ★教科書の観点別特色

観点	留意点	該当箇所
教育基本法・学習指導要領の遵守	①教育基本法及び学習指導要領で示された目標を達成するため、次の基本方針のもと、編修しました。 ・生徒が主体的に関わりながら学びを進める。 ・コミュニケーションを図るための基礎的な資質・能力を身に付ける。 ・知識・技能を活用して、思考力・判断力・表現力を育成する。	全般
コミュニケーション活動・4技能5領域への対応	①生徒に身近な題材を使った <b>コミュニケーション活動</b> を通じて英語の学習ができるように配慮しました。 ②学期末の <b>Project</b> では、「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やり取り）」「話すこと（発表）」「書くこと」の <b>4技能5領域を統合する活動</b> を設定し、コミュニケーション活動を図れるようにしました。 ③ <b>4技能5領域</b> の内容を各 Unit 内で適切に取り上げ、言語活動に <b>4技能5領域のマーク</b> を表示して、身に付ける知識・技能を明確にしました。	①全般 ②p.44-45, 88-89, 122-123 ③全般
【知識及び技能】の習得、 【思考力・判断力・表現力等】の育成、 【学びに向かう力・人間性等】の涵養・学習評価への連携	①【知識及び技能】細かいステップを踏んだ活動を通じて、 <b>知識・技能</b> の評価ができるようにしました。 ②【思考力・判断力・表現力等】各 Unit 末の <b>Think &amp; Speak/Write</b> には、Unit で学んだ言語材料を使って <b>場面や状況に応じて思考・判断・表現する活動</b> を設け、 <b>「思考・判断・表現」</b> の評価ができるようにしました。 ③【学びに向かう力・人間性等】各 Unit の活動が終了する最終段階において、 <b>Check</b> として生徒自身で評価することで学習を振り返る機会を設け、 <b>「主体的に学習に取り組む態度」</b> を見取ることができるようになりました。	①全般 ②③ Unit 末



学習内容定着への配慮	<p>①数 Unit ごとに配置した <b>Focus on Form</b> では、Unit で学習した文法項目についてより詳しく整理して学ぶことができます。</p> <p>②巻末の <b>Can-Do List</b> で学習事項を振り返り、基礎・基本の定着を図ることができます。</p> <p>③生徒が巻末の Word Box などを参考にして言語活動を行ったり、Word List で語彙の意味を確認したりすることを通して、基礎・基本の定着が図れるようにしました。</p>	<p>① p.17, 30-31, 74, 86-87, 106-107, 121, 130-131</p> <p>②③巻末</p>
小中・他教科の連携	<p>①欄外の <b>Words</b> には、小学校英語の授業にて音声で慣れ親しんだ単語を新出単語とは別に表示しました。</p> <p>②「防災、社会経験、文学」を扱った題材を取り上げました。</p>	<p>①全般</p> <p>② Unit 4, 5 Let's Read 1</p>
内容・配列・分量	<p>①生徒の身近な場面から導入を図るなど、<b>自然に英語に接することができるよう</b> 配慮しました。</p> <p>②<b>時間内に授業ができるような題材・分量を設定</b>しました。</p> <p>③3年間で<b>約 2,400 語程度 (小学校既習語を含む)</b>に触れられるようにしました。</p>	全般
1人1台端末環境への対応	<p>①音声や動画などデジタルコンテンツを使って繰り返し学習が有効な箇所には、<b>QR コード</b>を明示しました。また、QR コード対応機器以外でもデジタルコンテンツを活用できるように、「この教科書の使い方」のページに URL を掲載しました。</p> <p>②<b>音声などを用いた教材</b>を随所に設定し、臨場感をもって<b>コミュニケーション場面に即した音声</b>に触れることができるようにしました。</p> <p>③<b>生徒の書き込みが保存できる学習者用デジタル教科書</b>を発刊します。</p>	全般
オールイングリッシュへの配慮	<p>①<b>小学校から慣れ親しんでいる教室英語</b>を活用して授業を進めやすい題材を扱いました。</p> <p>② <b>Let's Talk</b> では、<b>即興的なやり取り</b>を促せる題材を設定しました。</p>	全般
家庭学習・自学自習への対応	<p>① <b>Unit を通しての目標</b>を <b>Input と Output の技能それぞれで設定</b>し、Unit とびらで Unit Goal として明示することで生徒自らが<b>見通しを立てたり、振り返ったり</b>できるようにしました。</p> <p>②紙面に適宜 <b>QR コード</b>を掲載して、<b>家庭でも音声を使って学習ができるよう</b> 配慮しました。</p> <p>③音声教材については、<b>速度調整できる機能を付加</b>することで、学習者ごとのペースで利用可能な個別最適化を目指しました。</p> <p>④「<b>英語の学び方</b>」を配置し、<b>効果的な英語学習のヒント</b>を紹介しました。</p>	<p>① Unit 該当箇所</p> <p>②③④全般</p>
持続可能な開発目標 (SDGs) の扱い	<p>①<b>目標項目 11「住み続けられるまちづくりを」</b>に関係する話題を取り上げました。</p>	① Unit 4
全国学力・学習状況調査への対応	<p>①各 Unit の間に <b>Let's Talk</b> または <b>Let's Write</b> を設け、重要な要素であるアウトプットの技能を集中的に養うためのコーナーを用意しました。</p>	① Unit 間該当箇所
文字・印刷・用紙・製本	<p>①余白部分、行間スペースに配慮し、文章が読みやすくなるように配慮しました。</p> <p>②<b>大きな判型 (A4 判)</b>を採用してイラストや写真を効果的に掲載することで、学習効果が上がるよう配慮しました。</p> <p>③針金を使わない堅牢な <b>PUR 製本</b>を採用し、ページを大きく開けるよう配慮しました。</p> <p>④書き込みやすく消しやすい<b>軽量で丈夫な用紙</b>を採用しました。</p> <p>⑤アレルギーや環境に配慮し、<b>植物油インキ・再生紙</b>を使用しました。</p>	全般

# 2 対照表

	図書の構成・内容・言語材料	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
<b>Unit 1 Talent Show</b>	未来表現 will (肯定・疑問) / 未来表現 be going to ~ (肯定・疑問) / 複文 S+V+O (that 節) 【Read & Think / Think & Speak】	(1) アイウエ、 (2) アイウ、 (3) ①アイウエオカ、②アイ	p.5-14	9
<b>Unit 2 Festivals in the World</b>	不定詞 (副詞的用法) / 不定詞 (形容詞的用法) / It+be 動詞 + ~ (+for) +to 不定詞 【Listen & Think / Think & Speak】	(1) アイウエ、 (2) アイウ、 (3) ①アイウエオカ、②アイ	p.19-28	9
<b>Unit 3 Visiting Singapore</b>	must, must not / have to, not have to / should, should not 【Read & Think / Think & Write】	(1) アイウエ、 (2) アイウ、 (3) ①アイウエオカ、②アイ	p.33-42	9
<b>Unit 4 Preparing for Natural Disasters</b>	There is/are ~. (肯定・疑問) / S+V+O (how など + to 不定詞) / S+V+O+O (how など + to 不定詞) 【Listen & Think / Think & Speak】	(1) アイウエ、 (2) アイウ、 (3) ①アイウエオカ、②アイ	p.49-58	9
<b>Unit 5 What is Your Dream?</b>	複文 接続詞 if / 複文 接続詞 because / 複文 S+ be 動詞 + 形容詞 + that 節 【Read & Think / Think & Write】	(1) アイウエ、 (2) アイウ、 (3) ①アイウエオカ、②アイ	p.63-72	9
<b>Unit 6 Kiri on the Stage</b>	S+V+O+C (名詞) / S+V+O+O (形容詞) / S+tell, want など +O+to 不定詞 【Read & Think / Think & Write】	(1) アイウエ、 (2) アイウ、 (3) ①アイウエオカ、②アイ	p.75-84	9
<b>Unit 7 World Heritage Sites</b>	比較級と最上級 -er, -est / 比較級 more と最上級 the most / 同等比較 as ~ as.. 【Read & Think / Think & Speak】	(1) アイウエ、 (2) アイウ、 (3) ①アイウエオカ、②アイ	p.95-104	9
<b>Unit 8 Food Diversity</b>	受動態 (肯定) / 受動態 (疑問・否定) / 助動詞+受動態 (can be seen, will be published) 【Listen & Think / Think & Write】	(1) アイウエ、 (2) アイウ、 (3) ①アイウエオカ、②アイ	p.109-118	9
<b>Let's Talk</b>	親しい人への依頼 / 気持ちを伝える / 道案内 / レストランでの食事 / 体調は? / 許可を求める	(1) アイウエ、 (2) アイウ、 (3) ①アイウエオ、②アイ	p.15/29/60/ 73/105/119	6
<b>Let's Listen</b>	週末の天気予報 / 空港のアナウンス / 留守番電話 / ラジオ番組	(1) アイウエ、 (2) アイウ、 (3) ①アイウエカ、②アイ	p.16/43/85/ 120	4
<b>Let's Write</b>	おすすめの旅行先を紹介しよう / 日本の習慣やマナーを伝えよう	(1) アイウエ、 (2) アイウ、 (3) ①アウカ、②アイ	p.32/108	2
<b>Let's Read</b>	The Restaurant of Many Orders / The Snowman / Charles Schulz	(1) アイウエ、 (2) アイウ、 (3) ①アウエオ、②アイ	p.46-48/ 90-93/ 124-128	9
<b>Project</b>	Sharing Japanese Culture with the World / Our Dreams for the Future / Discussion	(1) アイウエ、 (2) アイウ、 (3) ①アイウエオカ、②アイ	p.44-45/ 88-89/122-123	9
<b>Focus on Form</b>	これまでに学んだ言語材料の復習	(1) イウエ (3) ①アイウエオカ、②アイ	p.17/30-31/ 74/86-87/ 106-107/ 121/130-131	7
合 計				109